



※写真はイメージです。

No.10

ホタテモザイクアート 「ありがとう貝画(かいが)」

2019年3月
「ありがとう貝画」の制作

実施
時期

2019年6月
「ありがとう貝画」の
釜石鵜住居復興スタジアム敷地内への設置

実施場所

釜石鵜住居復興スタジアム敷地内(予定/釜石市)

実施主体

主催:三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
共催:釜石市、ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会、
スマイルとうほくプロジェクト※(調整中)

※スマイルとうほくプロジェクト:被災3県の新聞社(岩手日報社、河北新報社、福島民報社)が共同で運営。
震災の記録を伝える活動や地域に根差した復興支援活動を行っている。

事業目的

復興支援への感謝の気持ちを表す象徴的なモニュメントを制作・展示することにより、地域の復興への思いを次世代に継承する。

また、本プロジェクト後に釜石で予定されているラグビーワールドカップ2019™を目的として来訪する国内外の観戦客等に対して、感謝と歓迎の心を伝える。

ターゲット

オールターゲット(沿岸、内陸、全国、海外)
【集客目標】1,500人

実施市町村

釜石市

関連事業

事業内容

ホタテモザイクアート「ありがとう貝画」の制作・展示

- ① かまいし絆会議(釜石市内の小中学生)と連携し、地元の子どもたち発案による絵柄デザインを考案する。
- ② 三陸産ホタテの貝殻を使用し、かまいし絆会議の子どもたち等が着色し、モザイクアートを制作する。
- ③ 三陸鉄道の一貫運行の開始時期と合わせ、2019年3月に貝画完成イベントを実施する。
- ④ プロジェクト会期中に釜石鵜住居復興スタジアム敷地内に貝画を設置し、完成除幕式等を実施する。

期待される効果

- ・ 復興支援への感謝や復興への思いの共有が図られる。
- ・ 本プロジェクトの開催趣旨である「復興支援への感謝」、「つながり・関係の強化」がモニメントづくりを通して具現化され、発信される。
- ・ 本作品の創作を通じて、地域住民の参画意識や一体感の醸成が図られる。
- ・ 本プロジェクト及び釜石で開催されるラグビーワールドカップ2019™日本大会の盛り上がりにつながる。

今後の展開方向

- ・ 三陸地域における子供たちをはじめとする地域住民の文化芸術活動の振興を図る。